

クラスの様子【2月号】

●ひよこ組 今月の目標 身のまわりのことに興味を持つ気持ちを大切にしてい見守る。

1月は、りす組のお兄ちゃんお姉ちゃんとの交流が多くありました。生活の中で、日頃から姿を見る事は多くありますが、室内での玩具遊びや運動遊び、お散歩も一緒という機会があり、子どもたちにとっては、大きな刺激になっていると思います。大人が見ている以上に、じっと姿を見ていて、後で真似をする子もいました。また、最近では、帰りの用意も自分でしたいという思いが見られ、タオルやおしぼりをカバンに入れようとする子も出てきました。今後も、“自分でしたい”“やってみよう”という思いを大切にしてい見守っていきたいと思います。2月も新しいお友だちが一人入ります。みんなで笑い合って楽しく過ごしていきたいと思います。(伊達)



●りす組 今月の目標 感染症の予防に努め、暖かい日には元気に身体を動かして遊ぶ。

今月は先月に引き続き、いろいろな年齢のクラスと交流をしました。お兄ちゃんお姉ちゃんと少人数ずつお散歩に行く中で、はじめは緊張した様子の子もいましたが、繰り返し関わる事で手を繋いでもらったり「だっこ」と甘える姿も見られるようになってきました。活動の中でお兄ちゃんやお姉ちゃんの姿を真似する様子もあります。集まりにも一緒に参加してもらうことが多くあり、手遊びや絵本を読んでもらい、じっと見て観察し真似をして楽しんでいました。これからもお兄ちゃん・お姉ちゃんたちとの交流の時間を大切にしていきたいと思います。製作ではお正月あそびで福笑いをしたり、2月の節分に向けて鬼の帽子を作りました。その中で目や鼻などの顔のパーツを自分たちではりました。その際「めはここ」や「くちはないの？」など話をしながら取り組む姿がありました。保育士と一緒に目や鼻などをはることで位置関係もわかってきている子どもも多く、様々な表情の作品が出来上がりました。



また、手遊びや歌が大好きで今は季節の歌でオニのパンツ・豆まきを集まりで歌うと、遊びの中でも子どもたちが自然に口ずさんでいます。これからもたくさん手遊びや季節の歌を一緒に楽しんでいけたらと思います。(黒田)

●うさぎ組 今月の目標 幼児棟の雰囲気を楽しむ大きいお友だちとの関わりを楽しむ。

うさぎ組もあともう少し。日々成長してきた子ども達は、手洗いうがいが少しずつ身に付き、泡をつけてきれいに洗ったりガラガラうがい上手に出来るようになってきました。「せんせいみて、いいにおいする？」と、ピカピカになった手を見せてくれます。また、朝の会などお話を聞く時の姿勢が、かっこよくなり、お山座りや、お母さん座りで静かに聞けるようになってきました。一月は、むっくりクマさんやしっぽとり、カルタ取りなどの遊びを楽しみました。簡単なルールのある遊びを知り楽しむ姿がありました。むっくりクマさんという遊びが人気で、「まて～！」と、クマになって追いかけたり、「くまさんこっちだよ～」と、逃げたりして楽しそうに遊んでいます。保育士やお友だちと一緒に遊ぶ事が大好きです。また、少しずつ来年度に向け、大きいお友だちの部屋に遊びに行かせてもらっています。「ままごとしてきたよ。オムライスがあったよ」「パトカーのブロックであそんできたよ」と、うさぎのお部屋にはない玩具がありとっても嬉しそうにお話をしてくれます。また、「おにいさんトイレでおしっこできた！」と、大きいトイレでおしっこが出来て、お兄さんお姉さんみたいに大きくなった気持ちになり嬉しそうです。「もうすぐ年少さん」という意識が芽生え、楽しみという気持ちになれるよう幼児棟に遊びに行き、雰囲気を楽しむながら大きいお友だちとも関わっていけたらいいなと思います。(古川)



クラスの様子【2月号】

●さくら・くぬぎ・とちのき組 **今月の目標** 自分のことは自分でできるようにする。寒さに負けず身体を動かして遊ぶ。

1月18日、散歩に行った先での出来事をご紹介します。

年中の女の子2人が「氷オニしょ！」と誘ってきました。そこに年長の女の子2人が加わり5人でオニを決めました。しかしオニになった年中のAちゃんは「オニいやや…」と。再度決め方をみんなで相談し、ジャンケンという案も出ましたが年中2人が嫌がり、困った年長の2人が「私たちするわ～」と言ってくれ氷オニが始まりました。すると始まってすぐタッチされた年中のBちゃんが半ベそをかきいじけてしまいました。遊ぼうと提案した2人が「いや」ばかり言うので私もつい口を出してしまいそうになったのですが、年長の2人を見ると、困った様子でしたが「どうする？」と考えていました。結局その後は“だるまさんがころんだ”をすることになり、また何人が加わり楽しんでいました。



意見が合わなかったらバラバラで遊ぶことは簡単ですが、そうではなくどうしたら集まったメンバーで楽しめるかを考える年長さんの様子を見て、友だち(年下の子)に合わせようとする力、自分たちでどうにかしようとする力が身についているんだなと感じました。年中さんも自分たちの思いを受け止めてもらった経験が年長になった時に繋がっていくのではないかなと思います。このような関わりに出会うたびに「異年齢っていいな」と温かい気持ちになり、とても嬉しく思いました。(黒宮)

<お正月あそび>

1月上旬、コーナーや選択制活動の中でお正月遊びに取り組みました。その中の1つである書初めは年中児・年長児の中で“字がかけると子で挑戦してみたい子”と子どもたちに聞いてからおこないました。“書初め”と聞いてなかなかイメージが浮かばない子もあり、書道の際に使う道具を見せながら説明をすると集中して最後までしっかり話を聞いていました。取り組む子だけを集め、挑戦する前に墨のおいをかいたり、半紙の裏表を知ったり、、、初めてのことばかりで終始真剣な表情の子どもたち。いざ筆を握って書き出すとなると緊張や初めてのことに對する不安もあってなかなか進められない子がいたり、上にお兄ちゃん・お姉ちゃんがいる子はいつも自分ではできないけど今回はできる！という嬉しさもあり豪快に筆を進めていく姿があったり、、、最後は子どもたち一人ひとり満足のいく素敵な作品が出来上がり、“楽しい”という声もたくさん聞くことができました。これからも“やってみよう”という気持ちを大切に子どもたちと一緒に取り組んでいきたいと思っています。(倉田)



<描画>

4月から毎月、人物画・自由画・塗り絵等の描画に取り組んできました。今月は男の子と女の子の絵の塗り絵をしました。好きな色を自由に使ってクレヨンで塗ったり、「○○君と○○ちゃんにしょ!!」「パパとママにする!」とテーマを決め、お友達の着ている服と同じ模様にしたり、お化粧をしている顔にしたりと、個性あふれた作品となりました。きれいに塗る事より、こうしてワクワクしながら楽しく取り組むことが一番だと感じています。一年間、描画を続けてきて、最初はどのよう描いていいかわからず戸惑っていた子も、経験を積み重ねてきたことで今では画用紙いっぱい伸び伸びと表現できるようになってきました。「上手だね!」とお家の人や保育士に褒めてもらおうと、子ども達はどんどん自信へとつながり達成感を感じられるようになりました。これからも子どもならではの感性を大切に、自由な発想力を伸ばしていけると良いなと思います。(坂)

